

【 天国への手紙

2023年07月22日放送分 】

咲ちゃんへ

ラジオネーム：ちち つとむ

十七歳で天国へ旅立った咲ちゃんへ

亡くなって、はや五年が経とうとしています。

振り返ると一瞬で過ぎてしまった五年間でした。悲しみは今でも変わりません。人はいつかは旅立つものですが、十七年間とはあまりにも短すぎる年月です。

泣かないで悲しまないでという咲ちゃんの思いも

浮かんでいますが、あまりにも納得がいかなさ過ぎて、まだ苦悶の中にいる自分がいます。こんなことではダメだよな。発作のように咲ちゃんのことが思い出される度、胸が苦しくなります。

純真な笑顔、お茶目な表情、泣き顔、全て宝のような思い出です。

咲ちゃん、お父さんは、この手紙を機に変わろうと思っています。

弱い、泣き虫なお父さんですが、これから咲ちゃんを安心させる強いお父さんになろうと思っています。

なぜ咲ちゃんが亡くなったのか？

家族に愛を伝える為に産まれてきたんですよ。子を亡くした親の気持ち。最愛の兄弟をなくした者の気持ち。全てを与える為に気付かせる為に、この世に産まれてきたんですよ。

世の中を見渡せば、もっともって不幸な人達があります。

戦争で息子を亡くした母親、余命を宣告された患者の家族

枚挙に暇がありません。でも悲しみを知っているということは

同じような境遇の人に寄り添うことが出来るということですよ。

咲ちゃんの思いを汲み、少しでも多くの人達の悲しみを和らげるような活動をして行きたいと思います。

出来ることは何だってありますね。

生きるということの意味を知り、故人も喜ぶ生き方を

真剣に考え取り組んでいきます。

咲ちゃん、どうかこれから安らかにお眠り下さい。

いつか再開し熱いハグをさせて下さいね。お父さん、頑張ります。

では、また。

リクエスト曲

(果てなく続くストーリー / ミーシャ)